

令和5年度 再評価調書

事業名	耕地地すべり防止事業	地区・路線名	佐那河内東3期地区
事業主体	徳島県	関係市町村	名東郡佐那河内村
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、園瀬川中流部南岸に位置し、菅沢、尾尻、東山、府能東、府能西の地すべり工区により構成されている。</p> <p>地質については、斜面に崩積土が分布し、深部は風化や破碎が進行した岩盤により形成されており、地形についても集水地形であり、大雨などで集水された水は地下水となり滞留しやすい状態であり、広範囲に地すべりブロックが形成されている。</p> <p>本地区には、農地、農業用施設、人家、道路などの施設が存在し、社会的重要性も高い。このため、県土保全と民生の安定に資することを目的に地すべり防止工事を行い、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全を図るものである。</p>		
	<p>(事業内容)</p> <p>受益面積 395.7ha</p> <p>受益戸数 73戸</p> <p>主要工事 排水ボーリング工 4,325m、排水路工300m、アンカー工3箇所</p> <p>総事業費 471,000千円(国50%, 県50%)</p> <p>工期 令和元年度～令和10年度</p>		
事業評価項目	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>令和4年度までに全7ブロック中、4ブロック中を実施している。</p> <p>令和5年度末の事業費進捗率は、53.1%となる。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>該当無し。</p>		
	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>本地区は中山間地における果樹を中心とした営農を行っており、農業従事者の高齢化が進み、厳しい営農状況ではあるものの、すだちの生産量は、県内トップクラスであり、その基盤となる農地の保全について関心が高い。</p> <p>また、近年のゲリラ豪雨等により土砂災害などに対する地域住民の防災意識についても、高まっており、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっている。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>該当無し。</p>		
	<p>(費用対効果の分析)</p> <p>地すべり活動が顕著な府能東工区において、排水ボーリング工事により地下水位の上昇を抑制し、地すべりの危険性を軽減するとともに、事業効果の早期発現を目指す。また、他工区の対策工事についても、順次工事を進めることにより、地すべりの危険性の軽減を図る。</p> <p>総費用総便益比＝総便益（現在価値化）／総事業費（現在価値化）＝6.24</p>		
<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>佐那河内村及び地すべりブロック内の関係者は、事業の早期完成を強く要望している。</p>			
<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>			